



教材紹介

懇談会では、会員のエムアイシー・パリの森さんが国立天文台企画の教材を紹介してくださいました。

“立体星図工作キット 01 北斗七星”

この立体星図キットは、「わたしたちが地球からみている星の並び。宇宙に飛び出して、いろいろな方向から見ると一体どうなっているのか?! 星の並びを三次元で見ることで、「宇宙空間の奥行き」がわかるキットです。

(ホニャプラン株式会社 ウェブサイトより)

企画：国立天文台 天文情報センター

データ作成：国立天文台 JASMINE 検討室 矢野太平

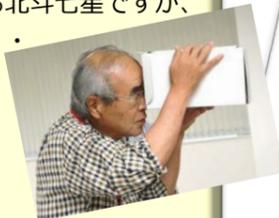
製作：ホニャプラン株式会社 <http://honya-online.net/>

その場で組み立ててみなさんと楽しみました。

普段、夜空を見上げてひしゃくに見える北斗七星ですが、製作しながら、星の位置関係を学び・・・

宇宙空間や広がりを感じ、とっても素敵な教材だと思いました。

森さんありがとうございました!!



事務局より
出席者の皆様からは貴重なご意見ご提案をいただき、誠にありがとうございました。一度に取り入れるのは難しいのですが、是非参考にさせていただき、より開かれた魅力あるKU・MAにしていきたいと思っております。

総会後は、並木会長から専門分野である気球による科学観測実験についての講演がありました。特殊な気球を用いて大気上層に機器を送り、実験や観測が終了した後には回収するのですが、気球の利用にもまた細部にわたって科学に基づいた理論と工夫があり、興味深いお話に参加者からはたくさん質問が出されました。このひと時もまた「おとなの宇宙の学校」の趣で、大人がワクワクする時間となりました。

またその後の懇談会、懇親会でも活発な意見交換があり、会員間の親睦が深められた一日となりました。

会員が全国各地におられるため、一堂に会することは難しいですが、メールなども用いながら皆さま是非、ご意見やご提案をお寄せください。

そして来年の総会に是非ご出席いただけますよう、スタッフ一同からよろしくお願ひ申し上げます。



通常総会 開催!!

6月15日神奈川県相模原市のプロミティふちのベビルにて開催されました。

(出席者11名、委任状99名、合わせて110名にて成立。)

総会では、平成28年度事業・決算報告と29年度事業計画・活動予算の各議案について稲葉副会長より説明があり、審議を経て各案件とも承認されましたが、出席者から活発に意見や提案が出されました。稲葉副会長及び事務局からの資料への補足説明とともに以下に列挙いたします。(以下、●補足説明、◆ご意見。)

■ 「宇宙の学校®」事業

- ◆会員として、KU-MA 事業で育った子供たちが未来に向けてどう育っているかがもっとわかるようなフィードバックが欲しい。
- ◆ネット上へのビデオアップをもっと活用するべき。「宇宙の学校®」を紹介するビデオをアップして会員や一般向けにもっとわかりやすくしてはどうか。(→JAXA 宇宙教育センターがすでに「宇宙の学校®」を紹介するビデオをYouTube にアップしているの、リンクをKU-MA のホームページに貼ることになりました。)
- ◆「宇宙の学校®」の自主開催地が増えているのは良いが、KU-MA の趣旨から離れる懸念もあるので、チェック機能が必要。

■ 企業 CSR 支援事業

- ◆宇宙関連企業などと、CSR 支援事業を受注できるとよい。
- ◆この総会資料の内容が充実しているの、このような資料を持って他企業にもアピールしに行ってはどうか?

■ 広報普及事業 教材・グッズ販売

- ◆物販をもう少し財源として増やしてはどうか?
例：KU-MA のオリジナルTシャツの製作。

■ 平成29年度 事業計画について

- ◆会員との接点を持つこと、「入ってよかった」と思ってもらえる要素を増やすことが必要。
- ◆会員向けに情報を発しても、必ずしも受け手に伝わっているとは限らない。常に意識付けすることが大事。
- ◆毎週送られてくるメールマガジンがコメント付きで多くの情報を伝えてくれるのととても良い。新規会員の勧誘に、このメルマガの「1か月お試し期間」を作ってもらい、1か月後に会員、せめて賛助会員になってもらえるようにと勧誘する手立てにしてはどうか?
- ◆「おとなの宇宙の学校」が会員にもアピールする事業になると思われる。

事業報告および決算報告 事務局より補足説明

- 「宇宙の学校®」参加者アンケートを見ると、家庭学習レポートの作成に難儀している家庭が多く、親子げんかになるケースもあるようなのでレポート作成と発表方法についてガイドブックを作るなど必要かもしれません。
- 4年後から学習指導要領が改定になり、主体的・対話的で深い学びが求められるようになります。「宇宙の学校®」はまさにこのような学びに適ったものといえます。
- 活動計算書の項目の「事業部門」は収益事業として課税対象、「管理部門」は非課税となります。

■ 「おとなの宇宙の学校」

- ◆もっと各地でやった方がいい。28年度の講演を会員向けにYouTube にアップして閲覧可能にし、自分の地域で主催したいと会員から手を挙げてもらうことを期待してもいいのではないかな。
- ◆全国各地で開催するのは難しいが、「宇宙の学校®」開催場所で、大人向けにも「おとなの宇宙の学校」をやりませんか、と持ちかけてはどうか。国分寺市のように行政と組んで行うのも一案。

■ 会員状況

- ◆会員数が漸減傾向にあり、もっと勧誘が必要。「宇宙の学校®」で毎回会員になってもらえる呼びかけては?

■ その他

- ◆KU-MA が来年創立10周年を迎えるにあたっての周年事業についてのアイデアを募集— (一案として) マスコミに取材してもらってはどうか?